

2011年度

科目名	日本美術史A			
担当教員	田中 健一			
配当	文財2		コード	53037
開期	前期	講時	金曜日3限	単位数 2
授業テーマ	日本美術史の通史的理解			
目的と概要	日本美術には、絵画・彫刻・工芸・書など様々な分野があり、各分野各時代に多様に展開してきた。この授業では、諸外国の美術との関係や政治史的・社会史的な問題を視野に入れながら、日本美術史の諸作品を概観する。また、受講者各々の作品のイメージを蓄積を図ることも目的とする。			
成績評価法	平常点(20%)とレポート(80%)によって評価する。			
テキスト	なし			
参考書	授業時に適宜指示する。割に入手しやすい通史的な書物としては、山岡泰造監修『日本美術史』(昭和堂、1998年)、辻惟雄『日本美術の歴史』(東京大学出版会、2005年)などがある。			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	講義の前後に美術全集などで図版を確認し、イメージの定着を図ること。			
講義計画				
1. はじめに 2. 日本美術史のはじまり 3. 飛鳥時代前期の美術 (1) 4. 飛鳥時代前期の美術 (2) 5. 飛鳥時代後期の美術 6. 奈良時代の美術 (1) 7. 奈良時代の美術 (2) 8. 奈良時代の美術 (3) 9. 平安時代前期の美術 (1) 10. 平安時代前期の美術 (2) 11. 平安時代後期の美術 (1) 12. 平安時代後期の美術 (2) 13. 平安時代後期の美術 (3) 14. 鎌倉時代の美術 (1) 15. 鎌倉時代の美術 (2)				